

**第 1 回長野市放課後子ども総合プラン事業の
運営体制の在り方検討小委員会
会議要旨**

日 時 令和 3 年 7 月 5 日(月) 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで
 場 所 長野市職員会館 3 階 会議室
 出席委員 【プラン推進委員】石田委員、熊谷委員、中山委員、西澤委員
 【外部委員】小笠原委員、小林委員、塚田委員、水野委員、横地委員
 欠席委員 【外部委員】高橋委員
 事務局出席者 日台こども未来部長、花立こども未来部次長兼こども政策課長、
 丸山こども未来部主幹兼こども政策課長補佐（社会福祉協議会駐在）、
 小田切こども未来部主幹兼こども政策課長補佐ほか
 傍 聴 者 1 人
 報道機関 2 社

発言者	内容
	1 開会
日台部長	2 挨拶
委員・事務局	3 自己紹介
事務局	4 小委員会の設立経過について 資料 1 により説明
	5 委員長選出 委員長に中山委員を選出
事務局	6 議事 (1) 長野市放課後子ども総合プラン事業の概要について 資料 2 により説明 《質疑応答》
委員	児童センターと子どもプラザにはどういった違いがあるのか。
事務局	児童館・児童センターは学校の外にある施設、子どもプラザは学校内の 余裕教室を利用している施設である。 児童館・児童センターはそもそも児童が放課後に過ごす場としての設 計がなされているので、遊戯室や学習室等を備えておりどちらかとい うと低学年向き、子どもプラザは学校内の普通教室や特別教室を使用し ておりどちらかというが高学年向きである。また、子どもプラザは学校の

	<p>運営に支障がないようにという制約がある。</p>
委員	<p>施設（センターかプラザ）は児童の希望で選べるのか。</p>
事務局	<p>中には、お住まいの地区によって施設を決めていたり、土曜日の利用の有無により決めていたりすることもあるが、施設のキャパシティーが限られているため、多くの小学校区では学年で分けている。</p> <p>また、現在、学校から距離が離れている児童館・児童センターについて、学校から施設までの移動時のリスクを最大限減らすため、学校内施設の子どもプラザに一本化するよう取り組みを進めている。</p> <p>プラン事業の基本的なサービス内容については、児童館・児童センターも子どもプラザも同じである。</p>
委員	<p>長野市の場合は、厚生労働省と文部科学省の両方から補助金をもらって運営しているということか。</p>
事務局	<p>以前は、2つの省から補助金をもらっていたが、制度変更により、文部科学省の補助金の要件から外れてしまったので、現在は厚生労働省の補助金のみとなっている。</p>
委員	<p>スライド4に運営委員会というのがあるが、今後の運営の在り方を考える中で、各小学校区の運営委員会で運営方針を決めるというやり方を改めるということも含まれるのか。</p>
事務局	<p>資料3でも説明するが、この事業のそもそもの成り立ちとしては、行政ではなく、地域が主体となって地域公民館などで子どもを預かったという経緯があり、その成り立ちの名残が地域の運営委員会という形で残っている。しかし、これからの時代に、地域にどこまでお願いをしていくかという事は改めて考える必要がある。地域との繋がりを切ることではないが、利用者から利用料をいただいている以上、標準化したサービスの提供が大前提であり、地域主体で決めていくと当然地域によって差が出てくる。これも、この運営体制の在り方を決めていく上で一つのキーとなってくる。運営委員会の在り方も、どのような地域との繋がりが望ましいかも視野に入れていただきながら検討していただきたい。</p>
委員長	<p>全国的にも運営委員会や保護者が運営している所はあるが、どんどん厳しい状況になっている。しっかりやっている所もあるものの、なかなかうまくいかない所、保護者の負担が大きくなっている所があり、資料にもあるように運営主体が運営委員会・保護者会という団体は徐々に減ってきており、社会福祉法人など法人化してきている状況である。</p>

委員	登録児童数の表で、朝陽児童センターが0人になっているのはどうい うことか。
事務局	長野市の基本的な考え方として、児童数が右肩下がりに減ってきてい る状況（少子化の進行）で、児童館・児童センターの施設の耐用年数を 考えながら、学校の中で放課後の居場所が確保できれば、子どもプラザ に統合していくという方針がある。朝陽児童センターは、朝陽小学校の 体育館の建て替えに合わせて、朝陽子どもプラザに統合したため、0人 となっている。
事務局	(イ) 長野市放課後子ども総合プラン事業の運営体制の在り方について 資料3により説明 《質疑応答》
委員	職員の質の向上や専門知識を得る場などの工夫はどのようにしてい るか。
事務局	市や社協では、校長 OB を指導主事として雇用しており、指導主事を 中心に、配慮を要する児童への対応や遊具の安全な使い方といった児童 の育成支援に必要な研修を年に数回行っている。 最近では、コロナ禍で対面での研修が難しいため、ZOOM による研修も取り 入れながら研修の機会を確保している。
委員	都道府県が行う放課後児童支援員認定資格研修はどのくらいの職員 が受講しているのか。
事務局	支援員として雇用されている職員は概ねほとんどの職員が受講済み となっている。受講済みの職員が退職してしまうケースもあるので正確 な数字はすぐには分からないが、平成 30 年度までに 300 人弱の職員が 受講済みとなっている。
委員	このプラン事業は、小学校教育と密接な関係があるが、学校側から見 たこの事業に対する評価や期待はどうか
委員	今までは学校の時間と放課後の時間とで区別があった。同じ子どもで も学校で見せる姿と放課後の施設で見せる姿が違う。しかし、同じ子ど もなのだから連携は必要だと考えている。 宿題を例に挙げると、新しい指導要領では「自学自習力を付けよう」

となっている。学校としては、宿題を子どもたちが率先してやることを推奨する。しかし、宿題の時間を設けている施設と設けていない施設がある。学校とすれば、子どもたちにやる気があれば宿題をする時間を設けてほしいし、学校と歩調を合わせてほしい。そういったところがうまく連携できればいいと思う。

委員

実際に現場を見せてもらったことがある。職員の方々が一生懸命やってくださっているという印象だったが、かなり高齢化しているという印象も受けた。もう少し、子どもたちの年齢に近い人たちが、常勤職員という形で採用されるとよい。実際に、若い人たちが関わると、子どもたちの活動に対する意欲が変わってくる。施設運営にもっと若い人たちが関わられるような組織・体制になるといいと思う。そのために、長野市がきちんと金銭面を保障しなければいけない。

指定管理者制度の中では、合理化というのが前面に出るため、働く人を年収 130 万円以下で探すという制約が出てしまう。そのあたりは、スタッフの質やサービスの向上に大きく影響してくると思う。

事務局

今できることでいえば、大学に働きかけを行い、学生を補助員として採用し、現場に入ってもらっている。子どもたちの反応もよいと聞いている。

ただ、この事業はそもそも放課後の時間帯が基本となるので、フルタイムの雇用がなかなか難しい。

考え方としては、大きな組織で動いていくとすると、よりコアなメンバーとなる常勤職員で、午前中は別の事務作業や資質を伸ばす仕事をしながら全体あるいはブロックを見てもらい、午後は支援員として働く。全体の質の向上と平準化にはとても重要な要素であり、そういった雇用が形であれば、若い人を雇用できる体制が構築できる。

委員

市税の限られた中でというのがネックだと思うが、日本全体で放課後を含めて子育てや介護に係る福祉の現場は、国にもっと補助金を出して欲しいと、どの自治体もプッシュしていかなければいけない時代だと思う。そういったことも念頭におきながら、検討を行いたいと思う。

委員

これからの議論に関わって、直営、または法人を設立して運営している他の自治体の例を複数示してほしい。

委員長

職員の質の向上と処遇の問題は密接に関係していると思うが、新しい体制をどうやって作っていくかは別として、今までとは違う雇用の在り方にも踏み込む必要がある。

また、職員と子どもの割合の比率の差が地域によってあるのではないかと思う。そういった現時点での課題が明確になれば、新しい組織体のイメージや方向性が見えてくると思う。現状の職員体制がどの程度なの

<p>委員</p>	<p>か、わかる範囲で示してほしい。</p> <p>資料の中で、「多くの職員は各施設ベースで採用、施設間での流動性はほとんどなし」とある。これは支援員の資質にも関わってくるが、やはりチルドレンファーストを根底において考えると、支援員の子どもの理解が足りないがために、支援員の何気ない一言や所作で子どもがトラウマになってしまうことは絶対避けてほしい。</p> <p>中には、支援員と子どもの相性が合わないということもある。学校の教職員でもあることだが、そういった場合、職員の異動によって職員も新たな場所でリセットしてもっと活躍できることもあるし、子どもも新しい出会いの中でうまくいくことがある。職員にとっても子どもにとってもいい方向を考えると、職員の流動性が可能な仕組みが必要ではないか。そのあたりで他市の様子も分かれば教えてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>いただいたご意見等については、次回以降の会議で可能な限りお示しをしていく。</p>
	<p>7 その他</p>
	<p>8 閉会</p>